

+αだよ

令和7年度中学校・高等学校 体育担当者研修講座

のその先へ

作成：令和7年12月時点

岡山県教育庁 保健体育課

<注意>

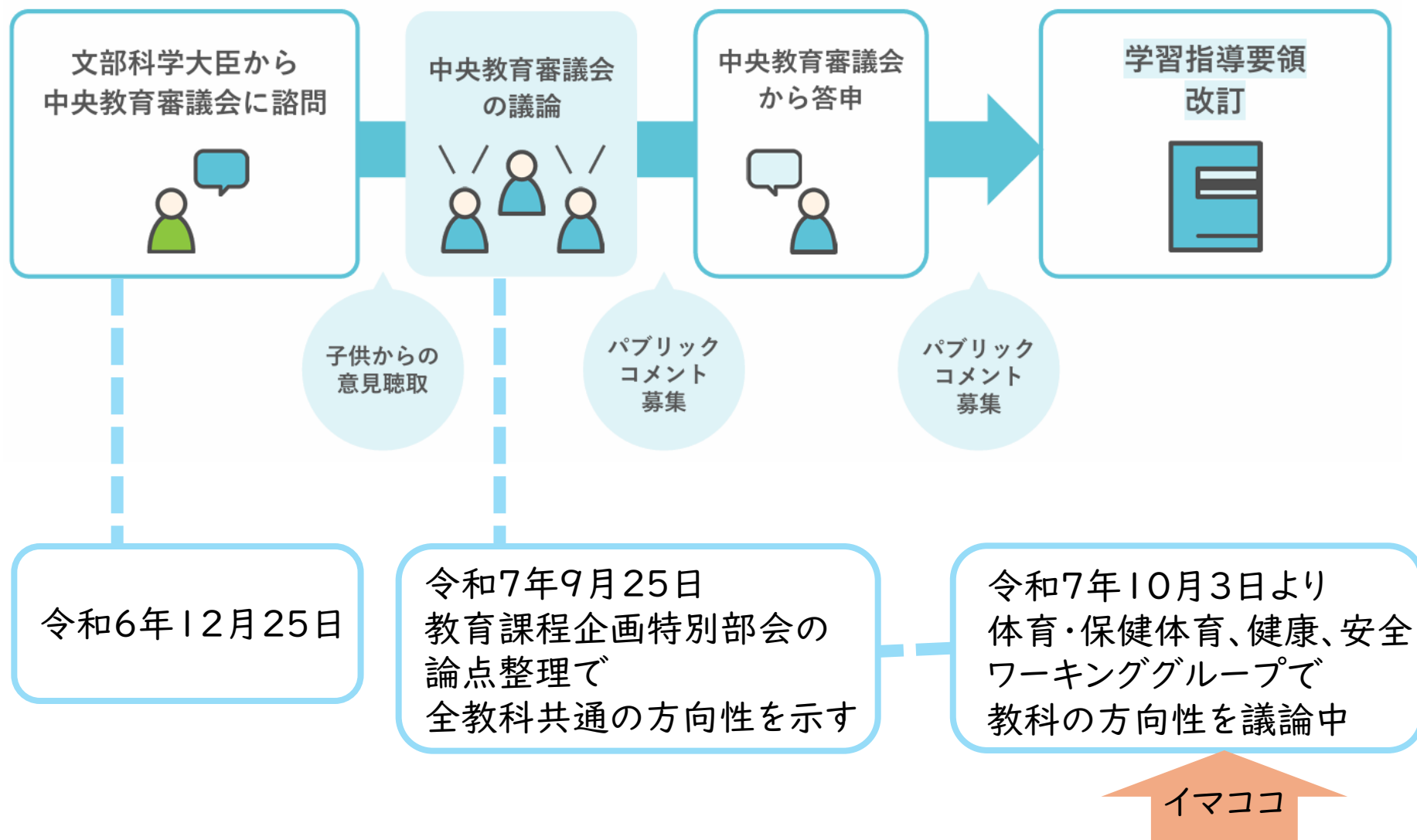
本動画は、令和7年度中学校・高等学校体育担当者研修講座で視聴しなくてはならない動画ではありません。自主的な研修の位置づけで作成された動画になります。

この動画の目的

次期、学習指導要領改訂の知見を得ることにより、より一層、

学習指導要領を踏まえた保健体育指導と学習評価の在り方等について研修し、中学校・高等学校における、学校や地域、生徒の実態に即した学校体育活動の充実を図る。

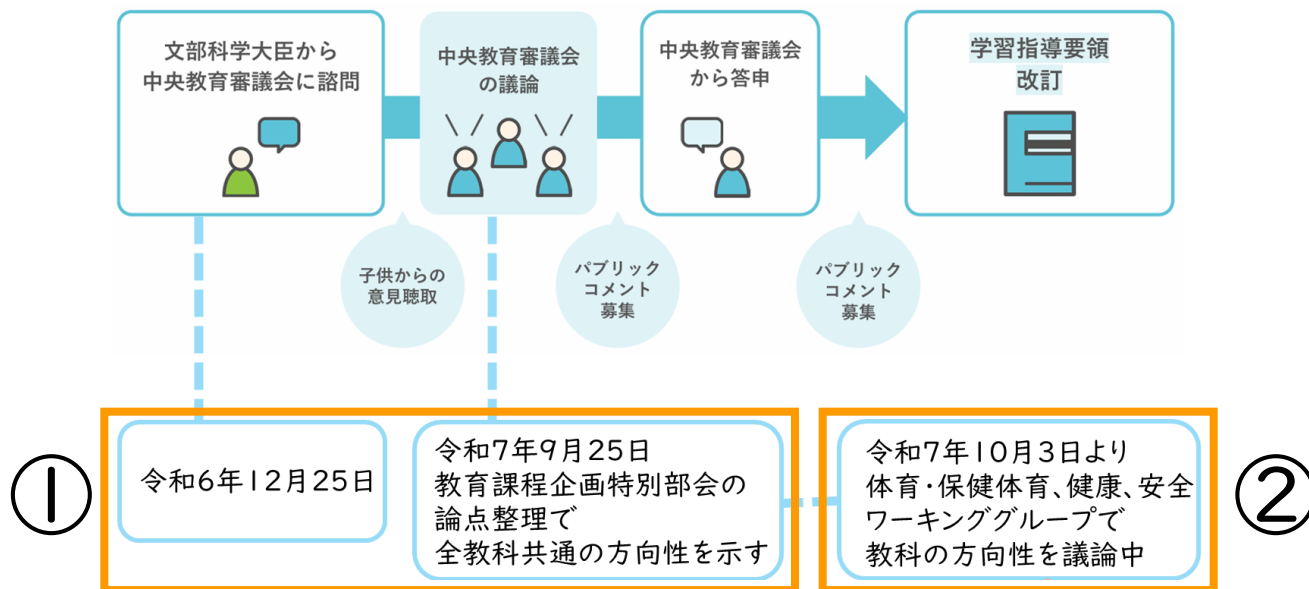
学習指導要領改訂の流れ



この動画の内容

①令和7年9月25日 論点整理で示された
全教科共通の方向性について

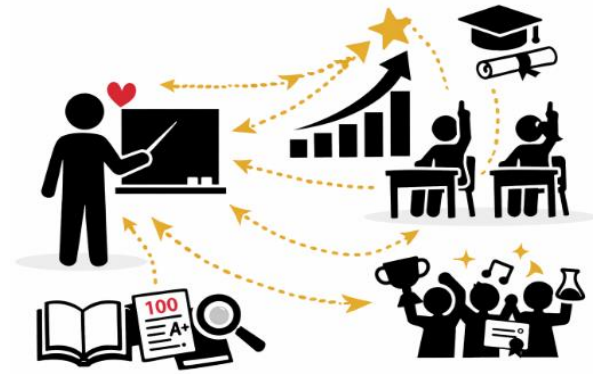
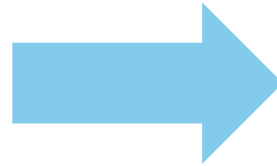
②現在、ワーキンググループで議論されてい
る内容について



令和6年12月25日 諮問の概要



現行学習指導要領



質の高い教師の努力と
熱意に支えられ大きな成果

一方で課題も顕在化

- ①学ぶ意義を十分に見いだせず、主体的に学びに向かうことができていない子供の増加
- ②現行学習指導要領の理念や趣旨の浸透が道半ば
- ③デジタル学習基盤を効果的に活用する必要

令和6年12月25日 諮問の概要

1. 質の高い授業づくりに直結する 分かりやすい学習指導要領にするには



各教科等の中核的な概念等が
分かりやすい構造化の方策

表形式やデジタル
を活用した示し方

重要な理念の関係
性の整理のし方

デジタル学習基盤を前提とした
資質・能力の示し方

学習評価の在り方

2. 多様な子供たちを包摂する、教育課程 の柔軟な対応とは



子供による学びの自己調整
と教師の指導性の在り方

教師に「余白」を生み、教育の質の可能性の向
上に資する可能性も含めた、子供たちが輝く柔
軟な教育課程編成の促進の在り方

全日制・定時制・通信制を
含めた高等学校の諸制度の
改善の在り方

不登校児童生徒や特定分野に特異な才能のある
児童生徒を包摂する教育課程上の特例の在り方

3. 教科等において改訂すべき点は何か



情報活用能力育成の
抜本的充実を図る方策

質の高い探究的な
学びの在り方

文理横断・文理融合の
観点からの改善の在り方

生成AIの活用を含む今後の
外国語教育の在り方

教育基本法、学校教育法等に加え、こども
基本法の趣旨も踏まえた主体的に社会
参画するための教育の改善の在り方

高等学校教育の
改善の在り方

質の高い特別支援教
育の在り方

幼児教育と小学校教
育との円滑な接続の
改善の在り方

4. 過度な負担を生じさせずに趣旨を 実現するには



学習指導要領や解説、教科書、入学者選抜、教師用指導書も含めた授業作りの
実態等を全体として捉えた上での、教育課程の実施に伴う過度な負担や負担感
が生じにくい方策

教科書の内容や分量、
デジタル教科書の在り方

現在以上に増加させないことを前提
とした年間の標準総授業時数の在り方

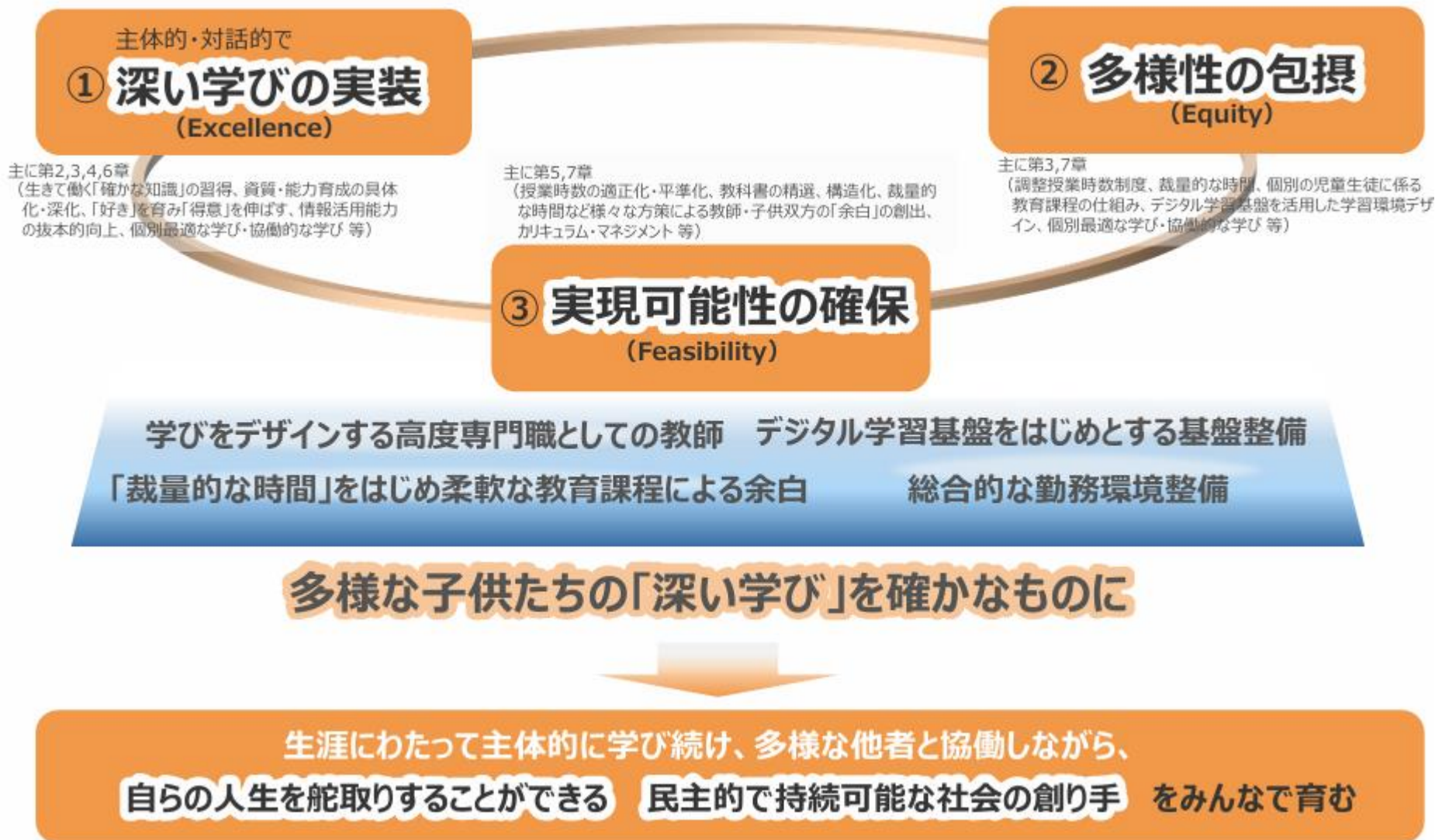
教育委員会への支援強化、指導主事
等の資質・能力の向上の在り方

情報技術など変化の激しい分野で
最新の教育内容を扱うことを可能
とするための方策

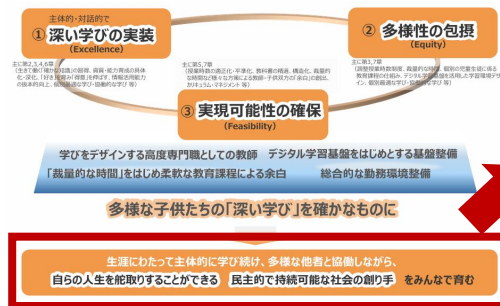
学習指導要領の趣旨・内容について、
社会全体に浸透を促す方法の在り方

地域や家庭との連携・協働を促進し
つつ、カリキュラム・マネジメント
を実質化する方策

次期学習指導要領改訂の基盤の考え



次期学習指導要領で身に付ける力



自らの人生を舵取りする力

民主的で持続可能な社会の創り手

好き（興味・関心）を育み、
「得意」を伸ばす



当事者意識を持って、
自分の意見を形成
し、対話と合意がで
きる

▶これを受けて、各教科等で検討中

改訂の具体について

本動画

▶保健体育の授業に関係しそうな部分について抜粋

□学習指導要領の構造化

（目標・見方考え方・系統性）

□学びに向かう力、人間性等の再整理

□学習の基盤となる資質能力の再整理

□デジタル学習基盤

学習指導要領の構造化

※あくまでも
イメージです

目標

●●する資質・能力（資質・能力の趣旨）について、●●することなどを通して（学習過程）、次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力・人間性等
--------	--------------	--------------

①「目標」「見方・考え方」について

前回WGでの議論を踏まえた改善イメージ

見方・考え方

●●（当該教科で扱う事象や対象）を●●（当該教科固有の物事を捉える視点）の視点から捉え（に着眼して捉え）、●●（当該教科固有の考え方や判断の仕方）すること。

内容

	●学年相当	●学年相当	●学年相当
知識及び技能に関する統合的な理解 ・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~	・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~	・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~	・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~
思考力、判断力、表現力等の総合的な発揮 ・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~	・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~	・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~	・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~ ・ ~ ~ ~
（内容の取扱）			

②「体育運動領域の系統性」について

前回のヒアリング等を踏まえた検討イメージ

「表形式による構造化」

「高次の資質・能力」について

体育・保健における検討イメージ

適宜往復しながら
検討を進めることを想定

令和7年12月18日 体育・保健体育、健康、安全WG（第5回）資料より

目標

共通

【柱書】 ●●する資質・能力（資質・能力の趣旨）について、●●することなどを通して（学習過程）、次のとおり育成することを目指す。

※変更可能性あり

心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力について、体育や保健に関する課題の発見・解決に向けた学習過程を通して、次のとおり育成することを目指す。

小

【知識及び技能】

その特性に応じた運動の行い方や豊かなスポーツライフにつながる関わり方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、それらに関する基本的な動きや技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

運動や健康についての課題を見付け、運動に豊かに取り組んだり、課題を解決したりするために必要なことについて考え判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力・人間性等】

●運動との多様な関わり方や自己の心身の健康に関心を持ち、目的に応じた運動や健康についての課題解決に向けて、他者と協力したり自ら試行錯誤したりする態度を養う。
●自己にとつての運動や健康の価値を見出しつつ、健康の保持増進や体力の向上を含む心身の充実を目指し、明るく楽しい生活を営む態度を養う。

中

【知識及び技能】

その特性に応じた運動に関する技能や豊かなスポーツライフにつながる関わり方及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、それらに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

運動や健康についての課題を発見し、運動に豊かに取り組んだり、課題を解決したりするために必要なことについて、合理的に考え判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力・人間性等】

●生涯にわたる運動との多様な関わり方や自他の心身の健康に関心を持ち、目的に応じた運動や健康についての課題解決に向けて、他者と協力したり自ら試行錯誤したりする態度を養う。
●自己にとつての運動や健康の価値を見出しつつ、健康の保持増進や体力の向上を含む心身の充実を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

高

【知識及び技能】

その特性に応じた運動に関する技能や豊かなスポーツライフにつながる関わり方及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、それらに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

運動や健康についての課題を発見し、運動に豊かに取り組んだり、課題を解決したりするために必要なことについて、合理的、計画的に考え判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力・人間性等】

●生涯にわたる運動との継続的で多様な関わり方や自他の心身の健康やそれを支える社会づくりに関心を持ち、目的に応じた運動や健康についての課題解決に向けて、他者と協力したり自ら試行錯誤したりする態度を養う。
●自己にとつての運動や健康の価値を見出しつつ、健康の保持増進や回復、及び体力の向上を含む心身の充実を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

※ 今後「高次の資質・能力」等も含めて更に議論を進める中で、「目標」についても教科としての特性をよりの確に表現する観点等から引き続き検討を行うことを想定。

令和7年12月18日 体育・保健体育、健康、安全WG（第5回） 資料より

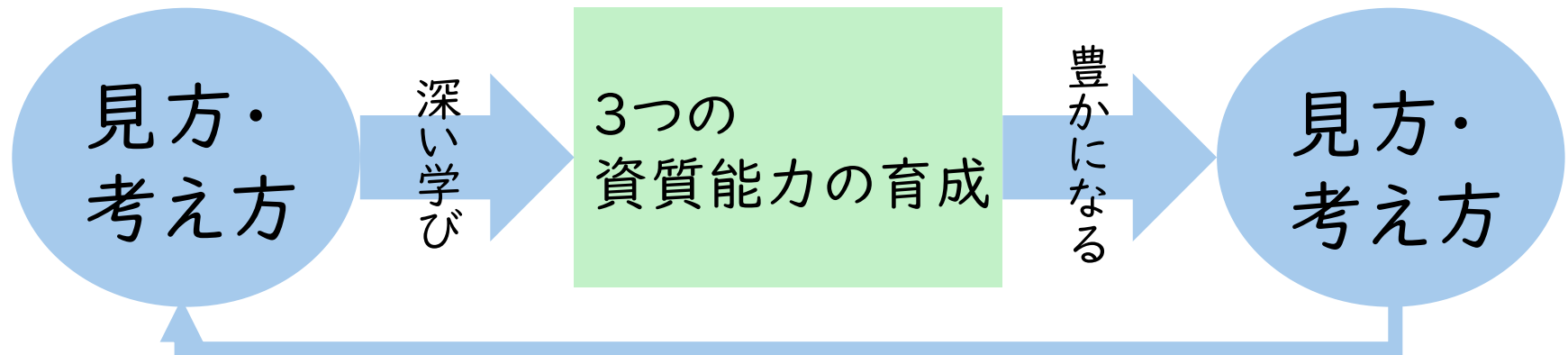
+ α 令和7年度 中学校・高等学校体育担当者会（2月実施）のその先へ

【現行の】 見方・考え方

＜現行の見方・考え方の役割＞

(1) 保健体育の学びの深まりを示す

(2) 保健体育を学ぶ本質的意義の中核を示す



(参考)

	現行の見方・考え方の役割	次期の見方・考え方の役割
(1) 深まり	○	×(指導要領の構造化で示す)
(2) 意義	○	○

見方・考え方

体育



現
行

運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けること。

(イメージ)
次
期

運動やスポーツを、心身の充実に果たす役割や、多様な楽しみ方の視点から捉え、自他の豊かな生活及び活力あふれる社会づくりにつなげること。

※今後変更の可能性あり

保健



現
行

個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること。

(イメージ)
次
期

保健に関する課題や情報を、健康や安全に関する概念やそれに関わる原則に着目して捉え、リスクの軽減や生活の質の向上、及び健康・安全を支える環境づくりにつなげること。

※今後変更の可能性あり

令和7年12月18日 体育・保健体育、健康、安全WG(第5回) 資料より

体育の系統性

※変更可能性あり

各種の運動の基礎を培う時期				多くの領域の学習を経験する時期				卒業後も運動やスポーツに多様な形で 関わるようにする時期			
小 学 校				中 学 校				高 等 学 校			
1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生	5 年 生	6 年 生	1 年 生	2 年 生	3 年 生	入学年次	次の年次	それ以降
体づくりの運動遊び		体づくり運動		体づくり運動		体づくり運動		体づくり運動		体づくり運動	
器械・器具を 使った運動遊び		器械運動		器械運動		器械運動		器械運動		器械運動	
走・跳の運動遊び		走・跳の運動		陸上運動		陸上競技		陸上競技		陸上競技	
水遊び		水泳運動		水泳運動		水 泳		水 泳		水 泳	
表現リズム遊び		表現運動		表現運動		ダンス		ダンス		ダンス	
ゲーム		ゲーム		ボール運動		球 技		球 技		球 技	
						武 道		武 道		武 道	
体づくりの運動遊び		体づくりの運動遊び		体づくり運動		体づくり運動		体づくり運動		体づくり運動	
器械・器具を 使った運動遊び		器械・器具を 使った運動遊び		器械運動		器械運動		器械運動		器械運動	
走・跳の運動遊び		走・跳の運動遊び		陸上運動		陸上運動		陸上競技		陸上競技	
水遊び		水遊び		水泳運動		水泳運動		水 泳		水 泳	
表現リズム遊び		表現リズム遊び		表現運動		表現運動		ダンス		ダンス	
ゲーム		ゲーム		ボール運動		ボール運動		球 技		球 技	
						武 道		武 道		武 道	

「遊び」の要素

「運動」の要素

「競技」の要素

13

現行

次期
イメージ

令和7年12月18日 体育・保健体育、健康、安全WG（第5回） 資料より

体育の系統性

※変更可能性あり

各種の運動の基礎を培う時期				多くの領域の学習を経験する時期				卒業後も運動やスポーツに多様な形で関わるようにする時期			
小学校				中学校				高等学校			
1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生	入学年次	次の年次	それ以降
体づくりの運動遊び		体づくり運動		体づくり運動		体づくり運動		体づくり運動		体づくり運動	
器械・器具を使つての運動遊び		器械運動		器械運動		器械運動		器械運動		器械運動	
走・跳の運動遊び		走・跳の運動		陸上運動		陸上競技		陸上競技		陸上競技	
水遊び		水泳運動		水泳運動		水泳		水泳		水泳	
表現リズム遊び		表現運動		表現運動		ダンス		ダンス		ダンス	
ゲーム		ゲーム		ボール運動		球技		球技		球技	
						武道		武道		武道	
体づくりの運動遊び	体づくりの運動遊び			体づくり運動	体づくり運動			体づくり運動	体づくり運動		
器械・器具を使つての運動遊び	器械・器具を使つての運動遊び			器械運動	器械運動			器械運動	器械運動		
走・跳の運動遊び	走・跳の運動遊び			陸上運動	陸上運動			陸上競技	陸上競技		
水遊び	水遊び			水泳運動	水泳運動			水泳	水泳		
表現リズム遊び	表現リズム遊び			表現運動	表現運動			ダンス	ダンス		
ゲーム	ゲーム			ボール運動	ボール運動			球技	球技		
							武道	武道	武道		

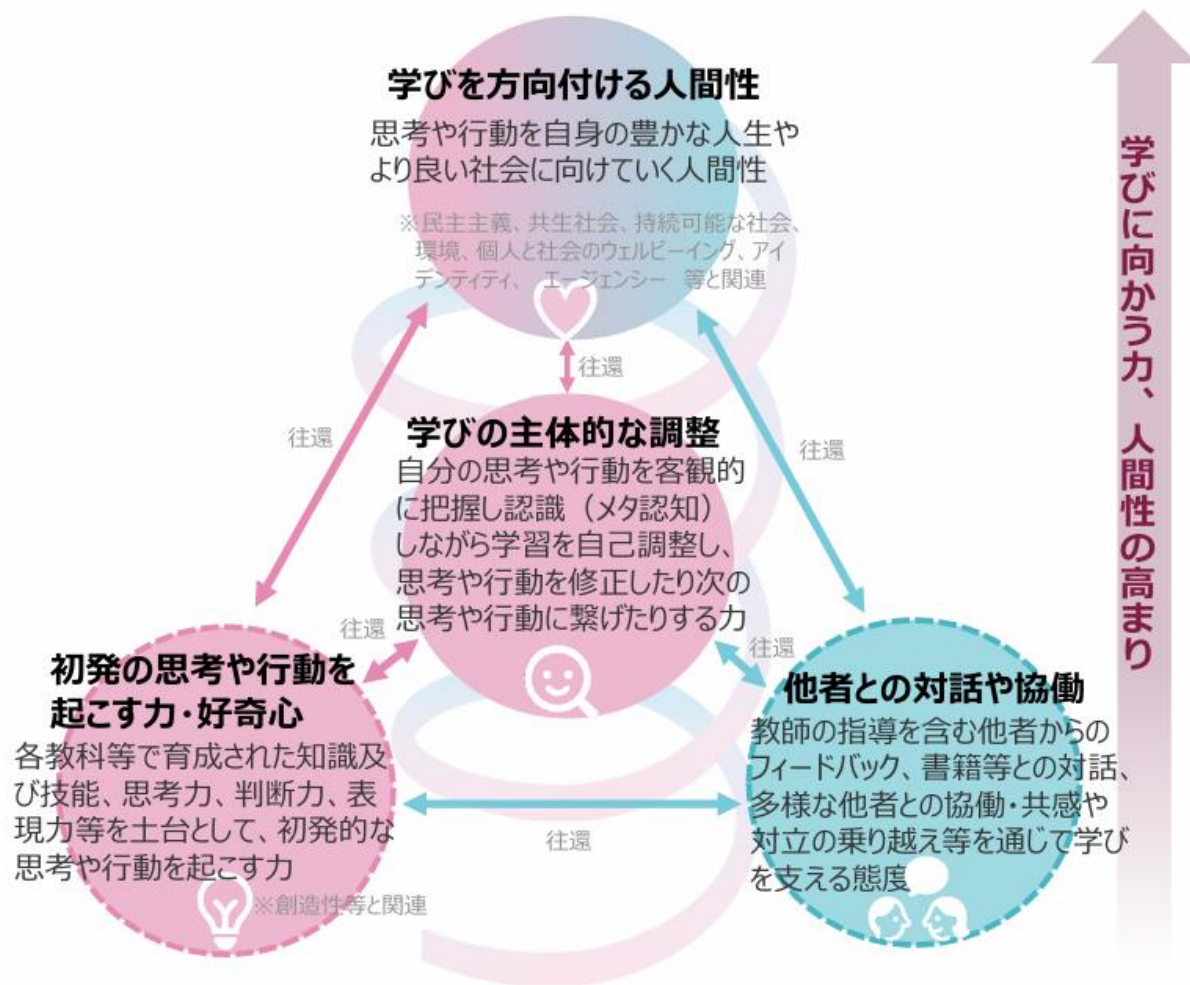
現行

次期
(イメージ)

令和7年12月18日 体育・保健体育、健康、安全WG(第5回) 資料より

学びに向かう力・人間性等の再整理

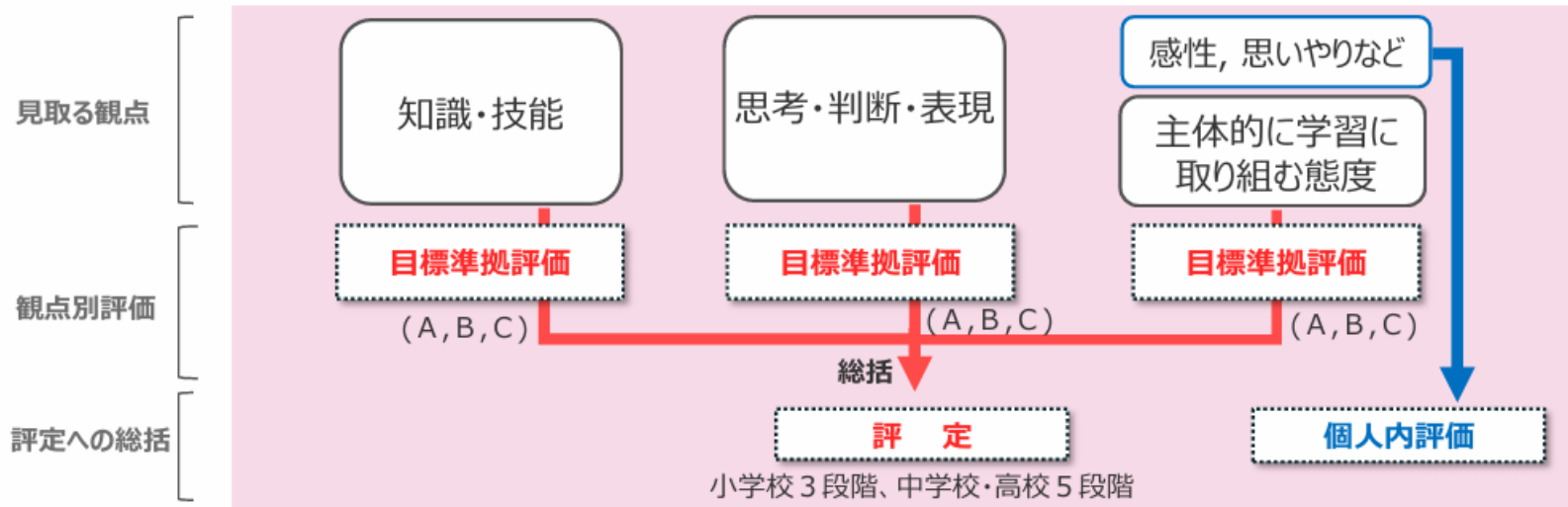
変化が激しい不確実な社会の中で、学びを通じて自分の人生を舵取りし、社会の中で多様な他者とともに生きる力を育む



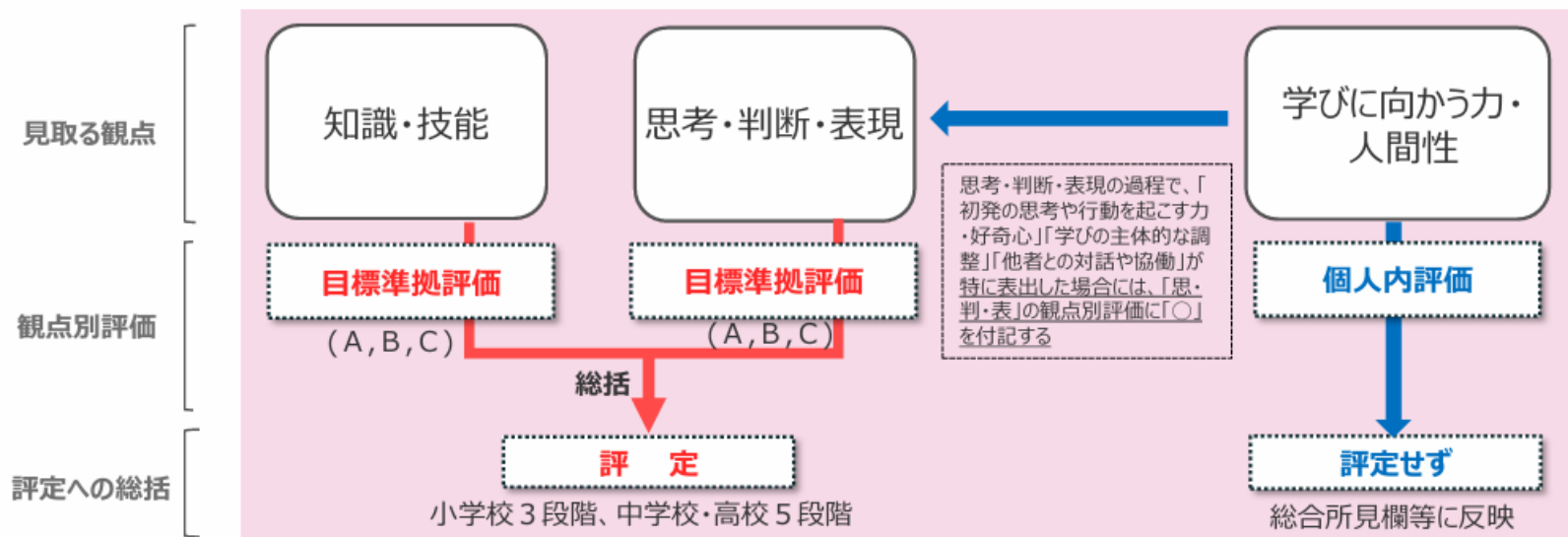
「初発の思考や行動を起こす力・好奇心」と「学びの主体的な調整」「他者との対話や協働」との往還を通じ、粘り強く継続的に思考・行動する経験が繰り返され、「学びに向かう力、人間性等」が育まれる。

学びに向かう力・人間性等の再整理

旧



新



学びに向かう力・人間性等の再整理

現行

※変更可能性あり

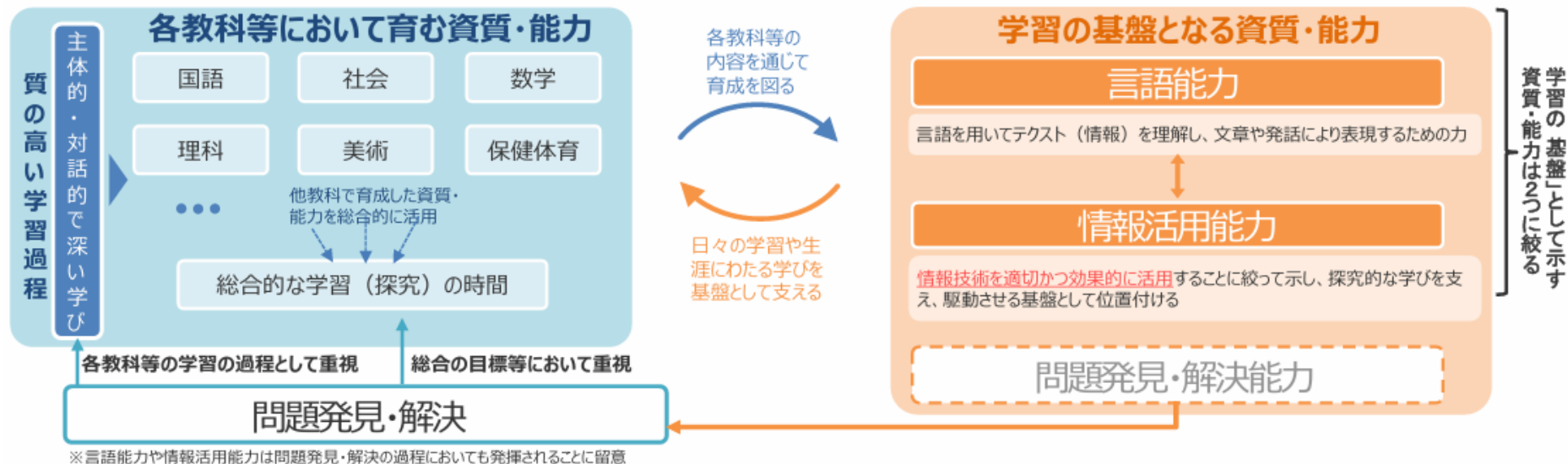
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
○ 運動・スポーツの実践や健康や体力の保持 増進・豊かなスポーツライフに関する知識及び 技能	○ 運動・スポーツ及び健康に関する思考力、 判断力、表現力等 (運動実践につながる態度に関する思考力、 判断力、表現力等を含む) ※中高	○ 主体的に学習に取り組む態度（体育） (愛好的な態度、公正、協力、責任、参画、 共生、健康、安全) ○ 主体的に学習に取り組む態度（保健） ○ 感性、思いやり等

次期 (イメージ)

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力・人間性等
○ 運動・スポーツの実践や心身の健康の保持 増進・豊かなスポーツライフ等に関する知識及 び技能 (公正、協力、責任、参画、共生、健康、 安全 といった運動・スポーツとの関わり方 に係る知識及び技能を含む)	○ 運動・スポーツ及び健康に関する思考力、 判断力、表現力等 (運動実践につながる態度に関する思考力、 判断力、表現力等を含む) ※中高	○ 運動・スポーツに多様な関わり方で親しむ 態度 (仮称) ○ 主体的に学習に取り組む態度（保健） ○ 感性、思いやり等
全ての教師に分かりやすい形とし、本質的な資質・能力を育成		運動・スポーツに多様な関わり方で親しむ姿等を 一層積極的に価値づけ

令和7年11月10日 体育・保健体育、健康、安全WG(第3回) 資料より

学習の基盤となる資質能力の再整理



参考

<現行での整理> 保健体育科 目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的（、計画的）な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ※（ ）は高等学校のみ

デジタル学習基盤

<課題>

- ① デジタル学習基盤が前提となっていない
- ② ICTの活用が教具的発想に留まっている

<改訂の方針>

① デジタル学習基盤の意義を示す。

- ・ 多様な子供たちにとっての包摂性を高めつつ、資質能力の育成に資する学習環境を実現
- ・ 子供にとっての学びやすさの向上や合理的配慮の基盤
- ・ デジタルカリアルか等の二項対立ではない視点の重要性

② 情報技術の進展に伴う取扱いの記載

③ 各教科の検討において、デジタル学習基盤が常に利用可能であることを念頭に検討

動画は以上になります ご視聴ありがとうございました。

作成：令和7年12月時点

岡山県教育庁 保健体育課

体育担当者会のその先のその先へ?!

本研修は、以下の資料を基に作成しています。

より最新の情報や、詳細がご覧になりたい方は、以下の資料を御参照ください。

- 令和7年9月25日 中央教育審議会 教育課程特別部会 論点整理

https://www.mext.go.jp/content/20250925-mxt_kyoiku02-000045057_01.pdf



- 教育課程部会 体育・保健体育、健康、安全ワーキンググループ

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/112/index.html

